

平成27年第4回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	6番	富永訓正 (60分)	<p><b>1. 多摩都市モノレールへの取り組みについて</b></p> <p>(1) 本年7月に東京都が出した「広域交通ネットワーク計画 交通政策審議会答申に向けた検討のまとめ」について。</p> <p>① 目標年次（平成27年）までに整備着手することが適当である路線、今後整備について検討すべき路線とともに、その他路線として「是政方面、五日市等方面」とされていることについて、市はどのような見解か。</p> <p>② 「その他路線（五日市方面）」とは、箱根ヶ崎からどこを通りどこまでのルートと聞いているか。</p> <p>(2) 箱根ヶ崎から羽村市を經由し八王子方面へのルートの具現化のために。</p> <p>① 上北台から箱根ヶ崎ルートを最優先に、さらに八王子ルートの具現化が不可欠である。そのための市の取り組み、課題を伺う。</p> <p>② 関係市町への支援強化、さらに連携・協働を今まで以上に深化させる必要があると考えるがいかがか。</p> <p>③ 市民向けPRの充実、講演会などを実施し、気運の醸成を高めるとともに、官民一体となった促進をさらに図るべきだと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 多摩都市モノレール整備事業のレベルアップ・具現化は、地域の地方創生・人口ビジョンにも大きく影響を与えるものと考えられる。</p> <p>① 多摩都市モノレールがもたらす地域への影響をどのように考えるか。</p> <p>② 市の「長期人口ビジョン」および「地方版総合戦略」への位置づけはどのようなものか。</p> <p><b>2. これからの観光振興について</b></p> <p>(1) 市では、これからの市内の観光振興についてどのようなビジョンを描いているか。</p> <p>(2) 現在策定中の羽村市産業振興計画と東京都観光産業振興プランとの連携はどのようなものか。</p> <p>(3) 昭島・福生・羽村観光推進協議会について。</p> <p>① 3市地域の観光資源について、「認知度」と「興味度」を把握するGAP調査から、どのような傾向、課題が見え、施策へ活かされたか。</p> <p>② ワークショップ、プレスツアー、モニターツアーが行われたが、参加者からは、どのような声があったか。</p>	9月1日

- ③今年度および、来年度以降の取り組みはどのようなものか。
- (4)昭島、福生以外の近隣各市町との連携事業についての取り組みはあるか。
- (5)多摩川沿いのサイクリングロードを活かしたイベントなどについて。
- ①東京都などで主催するTOKYOウォークが10月17日に行われる。45kmコースでは、羽村取水堰がスタート地点となるが、羽村を終着にするなど、こうした機会を最大限に活用した取り組みを今後、働きかけてはどうか。
- ②多摩川サイクリングロードは広域的な大きな観光資源と考えられる。羽村市および多摩川河口地域を発着／終点として、多摩川沿いサイクリングロード沿線自治体との連携で、途中いくつかの貸し出し／返却スポットを設けた、レンタサイクルを検討してはどうか。
- (6)市内工業地域などを巡る見学会・研修会について
- ①今までに実施された工場見学、公共施設見学会などの参加者からはどのような声があったか。
- ②市外からも広く参加者を募れるようさらなる充実に向けた取り組みに対してはどうか。
- (7)全国各地に伝わる「羽衣伝説」を持つ自治体は多く、文化の創造、地域の活性化等を目的に「羽衣交流サミット」が開催され活発な意見交換がされていると聞く。市でも「羽衣の堰」にちなみ、加入に向けての調査・検討を行ってはどうか。
- (8)羽村市郷土博物館が開館30周年を迎え特別展が開催中だが、企画展や学習会等とともに観光に結び付ける取り組みはできないか。

### 3. 熱中症対策について

- (1)市内での今夏における救急搬送を含む熱中症の発症状況を聞く。
- (2)市の熱中症対策での今までの取り組みはどのようなものか。
- (3)夏季などを含め、市関連イベントでの救護所の設置などの状況はどのようなものか。
- (4)高齢者や障がい者等の支援が必要な方に対する熱中症対策についてはどのような状況か。
- (5)避難場所確保への取り組みはあるか。

**1. 羽村市非常勤職員の待遇改善、雇用安定について**

## (1) 賃金について

- ① 非常勤職員の賃金は何を根拠に決定されているのか。
- ② 職務経験の要素を加味した賃金決定について、どのように考えるか。

## (2) 休暇について

- ① 臨時職員に与えられる「特別休暇」は「市長が別に定める」とされているが、具体的にどのようなものなのか。
- ② 嘱託職員の特別休暇の無給休暇に、国の非常勤職員同様に「介護、短期の介護」も加えるべきではないか。

## (3) 嘱託職員の「育児休業制度」については、どのように取り扱っているのか。

## (4) 非常勤職員の再度の任用について

- ① 任用と任用の間の空白期間は廃止すべきではないか。
- ② 雇用期間の上限は廃止すべきではないか。

**2. コーディネーターについて**

## (1) 昨年度末の非常勤特別職としてのコーディネーターは 17 名と把握しているが、非常勤特別職ではないコーディネーターは何名存在し、職種は何に該当するのか。

## (2) 任命について

- ① どのような基準で、どのような手続き（選考、面接など）を経て任命されるのか。
- ② 任命権者は誰で、最終責任者は誰なのか。

## (3) 勤務条件等について

## ① 報酬について

- ア) 非常勤特別職員としてのコーディネーターの報酬額は何を基準として決定されるのか。
- イ) 非常勤特別職員ではないコーディネーターの報酬額は何を基準として決定されるのか。

## ② 勤務時間、勤務日数について伺う。

## (4) コーディネーターという重要な職務上の性質から、他の非常勤特別職とは異なる責任や義務（守秘義務など）等があると考え。職務上の責任や義務はどこに定められているのか。

## (5) コーディネーターは他の非常勤特別職とは異なる性質がある仕事と考える。

- ① 任期については非常勤特別職と同様なのか。
- ② 非常勤特別職ではないコーディネーターの任期はどうなっているのか。

## (6) 活動、実績評価等は誰が行っているのか。

**3. 「共食」の機会を増やす取り組みを！**

## (1) 「孤食」がもたらす弊害についてどのような認識を持っているか。

3 人目

12 番

小 宮 國 暉  
(60 分)

- (2) 学校が休みの場合、お昼ご飯を一人で食べることになる子どもは多い。特に長期休みの場合、子どもが一人で食べることがないような施策を考えているか。(学童クラブが終わった小学4年生以上の子ども)
- (3) 高齢者に「共食」の機会を増やす取り組みについて
  - ① 「孤食」を解消していくための施策を検討しているか。
  - ② 高齢者食事会（ほほえみ食事会）の回数を増やしてほしいという要望が強い。開催回数を増やしてはいかがか。
- (4) 地域会館などを利用し、子どもや高齢者が気軽に共に食事をとれる機会をつくってはいかがか。

#### 1. 羽村市版の地方創生総合戦略の進ちよく状況は

- (1) 全国の地方公共団体における「地方版総合戦略」策定の取り組み状況は、どのようになっているか。また、多摩地域の市町村の状況はどうか。
- (2) 羽村市版の地方創生計画策定の進ちよく状況はどうなっているか。いつごろ、公表されるのか。
- (3) 地域における各企業、産業の稼ぐ力の向上を図るため、ものづくり等産業のローカルイノベーションを促進していくためには、駅前の活性化策に力を入れていくことが重要であると考えますが、羽村市の地方創生計画策定の中で、どのような施策が検討されているか。
- (4) 平成26年度一般会計補正予算（第6号）に計上され、平成27年度に繰越明許された次の事業について
  - ① 「産業力・創業力強化支援事業」は、市内企業が今後も地域で操業を継続し、かつ、イノベーションの創出等により、羽村市のさらなる発展につなげていけるようにすることが目的であるが、事業の進ちよく状況はどうか。
  - ② 「商業・観光振興及び若者地域活性化事業」は、地域資源を活用した新たな観光イベントや婚活応援イベントを展開していくとの説明であったが、その内容は具現化されたか。
- (5) 現在神明台地区に大型複合商業施設が計画されている。その店舗を含む施設の中に羽村の農産物等特産品を取り扱うスペースを設けて事業者と連携し、地域振興の推進協力を得てはと考えるがいかがか。

9 月 1 日

4 人目

1 番

高 田 和 登

(60 分)

(6)「商業・観光振興及び若者地域活性化事業」のひとつに羽村駅前東口、西口にイルミネーションの装飾をしたことは大変好評だった。これを短期間ではなく継続的に行ってはいかがか。また小作駅や動物公園に至る街路、羽村堰、チューリップ畑等、適宜時期、場所を変えてはどうかと考えるがいかがか。

(7)羽村駅西口に賑わいを取り戻していくことが必要であると考えているが、羽村市の地方創生計画の中で、検討されていることがあるか。特に羽村の投げ渡し堰が土木遺産として登録され、玉川上水の世界遺産申請の声がひろがる中、羽村の活性化への観光資源を掘り起こし、以前も提案したが、多くの人に憩いの場を提供しそれらをつなぎ合わせる仮称「花と水の周遊歩道橋（吊り橋）」構築への取り組みを再度提案したいと思うがいかがか。

#### 1. 時代に即した地域会館について

(1)集会施設の設置に関する条例について

①羽村市内には「会館」と呼ばれる集会施設が 23 ある。設置に関する条例が 2 つ、施行規則が 2 つあるが、設置時のいきさつにより、「羽村市学習等供用施設」と「羽村市地域集会施設」に分かれている。これらの集会施設に事実上の差異はあるのか。

②業務委託をしている「会館運営委員会」の委員は一般市民であり、市民にわかりやすくするという意味で、条例と施行規則を一つに統合すべきと考えるが、いかがか。

(2)時代に即した集会施設について

①地域会館を高齢者が利用する場合、階段の昇降に課題があると認識しているか。

②高齢者の利用を考え、市内の 2 階建ての会館にエレベーターを設置する考えはないか。

③本体価格 300 万円台の簡易なエレベーターもあり、検討すべきと考えるが、いかがか。

④平成 21 年第 7 回定例会で、市長は加美会館へのエレベーター設置について、必要性の認識と他の会館も含め検討する旨の答弁をしている。その後、どうなったか。

(3)小作台西会館について

①小作台西会館については、1 階を小作台図書室として利用しているため、2 階の施設しか利用できないことから、エレベーターの設置を望む声を多くの住民から聞いているが、どのように考えているか。

②エレベーター設置が困難であれば、1 階の図書室と 2 階の集会室との交換はできないか。

9 月 1 日

- ③小作台西会館は1階に集会施設がない、市内で唯一の地域会館である。高齢者に対応したモデル事業として、会館の改修を検討すべきと考えるが、いかがか。

## 2. 今後の図書館分室のあり方について

### (1) 今後の図書館分室のあり方について

- ①平成25年度「公開型事務事業外部評価」で「図書館分室管理運営事業」は「廃止（事業効果が低い。）（小作台図書室を除く）」との評価結果になった。もし、3分室（加美・富士見平・川崎）を廃止した場合の経費削減額はいくらか。
- ②廃止の評価が出た後、図書館としても、様々な検討をしているが、廃止した場合の経費削減額と市民サービスの低下や廃止を望まない地域住民の声などを総合的に比較し、今後の方向性を検討すべきであると考え、いかがか。
- ③「市の方針」は、「図書館分室について、（中略）図書館協議会等の意見を伺いながら、より市民サービスを向上させていく。」としている。平成27年3月10日には、羽村市図書館協議会が「今後の羽村市図書館分室のあり方についての意見書（具申）」（以下意見書とする）をまとめている。この意見書の方針を今後、どのように活用していくのか。
- ④「公開型事務事業外部評価」の評価を契機にして、行財政改革を実行することが要諦と考える。この際、将来的に3分室を廃止することも、選択肢の一つと考えるが、いかがか。
- ⑤分室に所蔵されている本は児童書であり、各小学校にある図書室と統合すれば、各分室の廃止は可能と考える。意見書には代替案として、学校図書館も検討されている。多くの課題はあるが、創意工夫により、可能になると考えるが、いかがか。

### (2) 各小学校の図書室の充実について

- ①各小学校の図書室はこれまで以上に充実すべきと考える。特に、本の貸出・返却が容易であることが利用者の拡大になると考える。羽村市図書館の利用者カードが、学校図書室でも使用できるようにシステムを改善すべきと考えるが、いかがか。
- ②各小学校の図書室に一般図書を置き、利用者の拡大を図ることはできないか。各小学校は基本的に地域に開かれた学校を目指しており、一般人が学校図書館を利用するために、学校敷地内に入ることは問題ないと考えるが、いかがか。

5 人目

5 番

中 嶋 勝  
(60 分)

(3) 今後の小作台図書室について

①意見書の6ページには、小作台図書室について、「現在のまま、運営できることが望ましいが、以前から地元町内会等から地域会館として使用したいために移転を求められている」との記述があり、様々な条件を満たせば「移転開室することが推奨される。」と記載されている。これは羽村市図書館協議会の意見であるが、市の見解を問う。

## 1. 羽村市の都市農業振興について

(1) 近年、農地が減少傾向にあるとのことだが、  
①羽村市の20年前、10年前、現在の農地面積の推移を聞く。

②その内、生産緑地面積の推移はどうか。

(2) 農地は食料の需給をはじめ、自然環境、景観、治水等、またいざという時の避難場所など防災空間としての機能も期待されていて、とても重要な緑地空間であり保全していく必要がある。現状における課題と対策、また税制度と農地保全との関係をどう見ているか。

(3) 平成27年4月16日に可決成立した都市農業振興基本法。これを受け羽村市では、基本計画を作成し対策を講じていくことになるが、市内における農業人口や後継者問題など、営農し続けられるさらなる支援をどう図っていくのか、都市農業特区制度の考えも含めて伺う。

(4) 市民が農業を身近に感じ、また親しめるための支援の充実について

①人気のある農ウォークイン羽村であるが、今後さらなる拡充はできるか。

②市民農園の拡充はどうか。

③援農ボランティアの増員を望むがいかがか。

④体験型農園の今後の見通しはどうか。

(5) 今後の農産物直売所運営の方向性と役割を聞く。

(6) 生産から加工・販売までを一貫して行う6次産業の新たな展開で農業振興を図る施策を望むが、その考えを伺う。

## 2. 障がい者に配慮した防災対策は進んだか

(1) 二次避難所である福祉センターの受け入れ体制は、「地域防災計画の改定と共に具体的に定める」とのことだったが、その改定後聞く。

(2) 特に援護を必要とする障がい者に対しては、平日と休日、または昼間と夜等の対応の違いに注意を払わなければならないと感じる。それぞれに応じた個別の対応マニュアル等を作成し、災害時に備えることはできないか。

9月1日

6 人目

9 番

西 川 美佐保  
(60 分)

- (3) 災害協定を結んでいる都立羽村特別支援学校と協同して、障がい者に特化した防災訓練や避難訓練を実施してはどうか。
- (4) 平成 24 年 9 月議会での福祉センターにおける「障がい者に配慮した防災対策」の質問で「検討していく」と回答のあった項目について進んでいるのか聞く。
  - ① 受水槽と非常用電源との接続はどうしたか。
  - ② 二次避難所への衛星電話の配備はできたのか。
  - ③ 備蓄倉庫の設置と物資の備蓄はできているか。
  - ④ 二次避難所への受け入れ時に、障害の別が判断できると混乱を避けることができる。適正に障害を識別する方法の導入はどうなったか。

### 3. 定住促進につながる住宅対策を

- (1) 近年の市営住宅入居募集数と応募者数はどれくらいか。一般世帯と高齢者世帯のそれぞれを聞く。
- (2) 今後を予想した時、市営住宅入居希望と受け入れの状況をどう見るか。
- (3) 市民の入居希望に沿えるような住宅対策を進めることで羽村市に住み続けられる定住促進につなげるには
  - ① 若い子育て世帯へ特別に配慮することで、地方創生と合わせた定住促進が図られると思う。その考えはあるか。
  - ② 特に单身も含めた高齢者の入居希望にどう応えていくのか。
  - ③ 富士見平のボナールのような借り上げ方式についてはどう考えるか。また、今後の市営住宅の方向性を聞く。
- (4) 市営住宅に特化することなく、広い視野でこれからの入居しやすい住宅課題に対処する必要があると思う。一定の条件下において、賃貸住宅入居者への一部家賃補助の考えも今後必要ではないか。

### 1. 恒久平和と不戦への誓いを継承しよう

- (1) 戦後 70 年の節目に、平和事業を強力に推し進める羽村市として、どのような思いで事業を企画したのか伺う。
- (2) ピースメッセンジャーとして中学生を広島市に派遣した事業は本年で 2 回目だが、今回はどういう企画・内容だったのか。また、参加した中学生が、広島市での体験をどう感じたのか。そして、今回の派遣を通し、

9 月 2 日

平和の尊さや不戦への思いをどのように広げ、継承していくのか。

- (3)戦後 70 年の平和啓発事業について、良かった点と反省する点などどう総括するのか。
- (4)羽村市の平和に対する取り組みは「世界連邦平和都市宣言」「羽村市平和都市宣言」を行い、さらに「平和首長会議」にも加盟し、本年5月、「日本非核宣言自治体協議会」にも加入。また平和の企画展を毎年実施するなど平和啓発事業にこれまでも積極的に取り組んできた。戦後 70 年の節目にあたり、平和に対する市長の思いをあらためて伺う。
- (5)広島市や長崎市での原爆被害や、沖縄県では日本で唯一の地上戦があった実態がまだまだ知られていない。戦争体験者から直接聞くことが大切と思われるが、来年度以降も派遣事業は実施するのか。また、広島市だけでなく、沖縄県や長崎市などにも派遣する考えはあるか。
- (6)多摩地域平和事業連絡会という平和事業を推進する会がある。羽村市として、市長は連絡会の 25 市と連携し、さらに平和事業を推進してはどうか。

## 2. 行財政コストの見える化、適正化について

### (1)公会計制度について

市として公会計制度と財政の見える化をどのように進めていくのか。

### (2)介護給付の適正化について

①介護保険が適正に利用されているのかチェック体制が必要であると考えますが、現在どのようにチェックされているのか。

②パソコンソフトなどを活用した「介護給付適正化事業」に取り組んでいる自治体もあるが、市のチェック体制の強化についての考えを伺う。

### (3)民間委託について

図書館、学童クラブ、児童館、市役所窓口サービス等の民間への委託や、中身の充実について、昨年 12 月にも質問したが、その後の検討状況はどうなっているか。

- (4)超過勤務を減らすことで、財政コストを削減し、職員の健康も守れるのでは  
残業時間が多い部署もあると聞いているが、平成 26 年度の一番超過勤務の多い部署の月平均残業時間と、月 60 時間を超過している職員は何人いるのか。また今後、超過勤務をどう減らすのか、根本原因は何か、人員配置は適正か、朝方勤務の導入など、見直す必要があるのではないか。

7人目

13番

馳 平 耕 三  
(60分)

### 3. 重症化予防のためのロタウイルス・ワクチンの公費助成を

- (1) ロタウイルス・ワクチンについて、市はどのような認識を持っているのか。
- (2) ロタウイルス・ワクチンの公費助成について5歳までにはほぼ全ての小児がロタウイルスに感染し、胃腸炎を発症することが知られている。一部公費助成をしてはどうか。

### 1. 中学校における部活動の実態を問う

- (1) 中学校における部活動は、教育課程上どのような位置づけにあるか。
- (2) 羽村市内の中学生で、どの部活動にも属していない生徒は何%か。
- (3) 中学校において、部活動の顧問となっている教員は全体の何%か。また、その中で、現在担当している部活動の経験のない教員は、何%にあたるか。
- (4) 中学校の運動部の中で、現在、週6日以上、部活動を行っている部は何%あるか。また、どのような部活が多いか。
- (5) 部活動の予算の(活動費)の最終決定機関はどこか。また、生徒会は、部活動の予算配分にどのように関与しているか。
- (6) 部活動中の重大事故は、その責任はどこが負うべきと教育委員会は考えているか
- (7) 課外活動の教員の負担を改善すべきではないか。
- (8) 子どもたちはいつも多忙の状況にあるが、教育委員会は、是正する考えはないか。

### 2. 2分の1成人式の意義を問う

- (1) 羽村市内の小学校において2分の1成人式を行っている小学校は何校あるか。
- (2) 準備としてあてられる時間は、また、準備には、どのような時間をあてているか。
- (3) 実施している学校では、どのような内容の2分の1成人式を実施しているか。
- (4) そもそも、2分の1成人式を行う教育上の狙いは何か。
- (5) 被児童虐待児や複雑な家庭事情もある児童にも配慮した内容にならないか。

### 3. イオンタウン建設に向けての市の方針を問う

- (1) 市は東京都やイオンタウン側とこれまで、どう話し合いを進めてきたか。
  - ① これまで話し合いの回数は何度あったか。
  - ② 市民や事業者から、意見書が何通、事業者、東京都、羽村市に届けられているか。
  - ③ 羽村市への意見書や要望のうち、東京都や事業者へ伝えた内容はどのようなものか。

9月2日

8 人目

10 番

橋 本 弘 山  
(60 分)

- ④渋滞・騒音・排気ガス緩和に向けた具体策は。
- (2)イオンタウン建設にあたり、水木公園の緑地保全に向けてどのような考えを持っているか。
- (3)今後、建設に向けては、地元の皆様の協力と理解が欠かせないと考えるが、地元町内会・自治会への説明は、いつどのように行われるか。
- (4)イオンタウン建設で市の税収はどのくらい増えると試算しているか。
- (5)娯楽施設等はないと聞いているが、そのような具体的な内容は市民にいつ発表されるか。

### 1. 公会計新基準について

- (1)これまでの公会計制度の取り組みの状況は。
- (2)この制度をどう分析、活用してきたのか。
- (3)平成 30 年 3 月までに、すべての地方自治体において新しい統一基準による公会計への移行を目指す方針が示されているが、今までの制度とどう違うのか。
- (4)固定資産台帳の整備と複式簿記による発生主義会計の導入は重要であると思うが、市の現在までの取り組み状況と、今後の取り組みは。
- (5)財務書類の分析や、財政運用に活用するための専門的な人材育成は急務であるが、その取り組みは。
- (6)固定資産台帳の整備は全庁的な取り組みが重要である。各部署の固定資産台帳管理の状況を把握し、一括した固定資産台帳の取りまとめが必要であるが、その取り組みをどう行っていくのか。
- (7)この公会計の統一的な基準整備の目的はどこにあるのか。
- (8)羽村市の今後の移行方針について。

### 2. マイナンバー制度の開始に向けて

- (1)今までの取り組みについて
  - ①現時点での準備状況は。
  - ②既存システムの改修状況は。
  - ③新規システムの整備状況は。
  - ④この財源はどうなるのか。
  - ⑤個人情報とセキュリティへの対応は。
- (2)この制度導入の準備、推進については、業務・制度・システムを統括する必要があると考えるが市の方針は。
- (3)制度運用に向けて、市内企業が取り組むことはどんな事が考えられるか。
  - ①税務に関する備えは。
  - ②社会保障に関する備えは。

9 月 2 日

9 人目

17 番

水 野 義 裕  
(60 分)

- ③セキュリティに関する備えは。
- ④その他、準備すべき事項は。
- (4) 市民や市内企業への周知や、研修の機会を設ける予定はあるのか。
- (5) 現在までの問題点、課題は何か。
- (6) 円滑な導入に向けての取り組みは。
- 3. 羽村市における樹木の管理状況について**
- (1) 羽村堰の桜の状況について
  - ① 東京都が実施した調査結果はどうだったのか。
  - ② その結果を受けた市の対応は。
  - ③ 水道局との連携は図られているのか。
- (2) 市やボランティア団体が行う公園等の樹木の伐採について。
  - ① その処分はどう行われているのか
  - ② それを再利用し、市民に提供できるような施策は。
- (3) 大雨や強風を伴う台風シーズンを控え、街路樹や公園等の樹木の点検は行われているか。

**1. 市民からの声への対応について**

- (1) ISO10002 に関連して
  - ① ISO10002 は、
    - ・顧客にとって、苦情の申告が容易になる。
    - ・苦情を解決する組織の能力を高める。
    - ・苦情の傾向判定および原因除去の能力を高め、組織運営を改善する。
    - ・苦情解決における顧客重視アプローチの創出及び要員スキルの改善を促進する。
    - ・苦情対応プロセス、苦情の解決結果およびプロセスの改善に関する継続的レビューのための基準が得られる。
    - ・組織に対する顧客の信頼を獲得でき、顧客満足度を高める。といったことが可能になるとしているが、これらについての市の考えは。
  - ② 苦情処理マニュアルの目指すものと、ISO10002 の目指すものの違いは何か。
- (2) 苦情処理マニュアルに関連して
  - ① ランクの判断は誰がどのように行うか。
  - ② 記録簿の作成は、ランク A から C としているが何故か、D も作成すべきではないか。
  - ③ 所管課職員全員へは、どのように周知しているか。
- (3) 苦情の発生状況について
  - ① 本年 5 月末に、この苦情処理マニュアルによる対応がスタートしたが、その後ランクごとの苦情の発生状況と、解決状況はどうか。
  - ② 始まったばかりだが、市民からの反応はどうか。

9 月 2 日

10 人目

4 番

富 松 崇  
(50 分)

## 2. 様々な資産管理について

### (1) ソフト面の資産について

- ① ソフト面での資産にはどんなものがあるか。また、それらの管理についてどう考えているか。
- ② 市政運営のために必要な資格にはどんなものがあるか。
- ③ 職員が保有する市政運営のための資格はどんなものがあり、何人が保有しているか。
- ④ 計画的に、職員の資格取得を進める必要があるのではないか。
- ⑤ これにより外部委託が削減できると考えるかどうか。

### (2) ハード面の資産管理について

- ① 公共施設等総合管理計画に含まれていない、ハード面の資産があるか。あればそれは何か。またそれらをどのように管理していくか。
- ② 公共施設等総合管理計画は年度内策定となっているが、進捗状況は。

## 3. 長期の財政見通しについて

### (1) 西口土地区画整理事業と公共施設等総合管理計画、これら 2 つは、予定通りに提示できるか。

### (2) それを踏まえて、長期の財政見通しを立てるべきと考えるかどうか

## 1. イオンタウンの出店準備状況と今後について

### (1) 現在の進捗状況は。

### (2) 今後のスケジュールはどのようになっているか。

### (3) 市内事業者・商工会等からイオンタウン出店に対して、どのような危機感や要望等が出ているか。

### (4) 専門店街の出店業種について

- ① イオンタウンから出店業種について、説明を受けているか。
- ② 市内事業者の出店への働きかけは。
- ③ 商工会等と連携して、出店業種について要望していくべきでは。

### (5) イオンタウンと市内事業者・商工会等が連携した、市内商業の活性化へ向けた取り組みを考えるべきでは。

### (6) 今回の大型店出店をチャンスと捉え、賑わいと活力のある街にするために、市内事業者へのさらなる支援強化を考えるべきでは。

9 月 2 日

11 人目

16 番

瀧 島 愛 夫  
(60 分)

## 2. 市内運動施設の利用状況について

### (1) スポーツセンターについて

- ①市内の一般団体から、なかなか予約が取れないと聞くと、曜日・時間帯別の利用状況は。
- ②利用者で社会教育関係団体・市内の団体・市外の団体の割合は。
- ③利用料金の設定額は。
- ④より多くの市内の団体に利用してもらう工夫はしているか。
- ⑤市内の学校体育館の曜日別の利用状況は。
- ⑥スポーツセンターの予約が取れない場合、学校体育館の空いている場所をお知らせする等、工夫ができないか。
- ⑦利用者の需要と施設の供給は十分足りていると考えているか。

### (2) グラウンド・テニスコート施設について

- ①市内の一般団体から、なかなか予約が取れないと聞くと、曜日・時間帯別の利用状況は。
- ②利用者で社会教育関係団体・市内の団体・市外の団体の割合は。
- ③利用料金の設定額は。
- ④市外の団体・個人の利用料金を近隣市と同額に見直すべきでは。
- ⑤より多くの市内の団体に利用してもらう工夫はしているか。
- ⑥利用者の需要と施設の供給は十分足りていると考えているか。

(3) 運動施設の利用状況等を把握し、必要があれば環境の整備を図るべきだと考えるが、市の考えを伺う。

## 1. 羽村市行財政改革基本計画について

- (1) 市民満足度調査の実施
  - (2) 受益者負担の適正化（使用料・手数料の受益者負担）
  - (3) 新たな歳入の確保
    - ①公募による公共施設自動販売機の設置拡大
    - ②普通財産の売却
    - ③公共施設駐車場の有料化の導入
  - (4) 行政評価の充実
  - (5) 補助金の見直し
  - (6) 事務経費の削減
  - (7) 職員の意識改革と組織の再構築
- 以上 計画の進ちよく状況を伺う。

9 月 2 日

12 人目

7 番

鈴木拓也  
(60 分)

### 1. 羽村駅西口土地区画整理事業はどうなっているか

- (1) 3 年間で移転するという 30 戸の地権者の合意状況はどうなっているか。
- (2) 「協力しない」という地権者がいた場合に、どう対応をとるのか。
- (3) 3 年間の予算のうち、道路などの工事費にはいくら、全体の何%が使われるか。
- (4) 補償金について
  - ① 3 年間の予算のうち、補償金にはいくら、全体の何%が使われるか。
  - ② 補償金は具体的にどういう内容に対して支払われるのか。金額の多い順に示して欲しい。
  - ③ 補償金の合計額はどの計算したか。
- (5) 「集団移転工法」を用いる箇所が示された。用いない場合と比べて何%予算が減らせるのか。また期間はどうか。
- (6) 下水道の下流側から工事を行うことを原則とする旨の説明が担当課からあった。具体的にどこが下流で、どこが上流となっているのか。
- (7) 事業全体の予算、期間がどうなるのかは明らかになったか。

### 2. イオンタウンはどうなっているか

- (1) 出店に向けた手続きは、どう進められたか。今後のスケジュールは明らかになったか。
- (2) 交通安全対策はどう進められたか。具体的に決まった事、明らかになった事はあるか。
- (3) 出店内容、営業時間、周辺環境への対策など、明らかになった事はあるか。
- (4) この間、羽村市、商工会などは、イオンや警察に対し、どのような働きかけを行ってきたか。

9 月 3 日

13 人目

2 番

浜中順  
(60 分)

### 1. 75 歳以上の高齢者に、医療費の窓口負担の助成制度を

- (1) 団塊の世代が高齢化する中で、医療費が膨張している。高齢者の健康を保持して、医療費を増加させないことは、大きな課題である。その解決策として、早期治療により医療費を抑えることが重要と思うが、これについてどう考えるか。
- (2) 日の出町では、2010 年度から行っている 75 歳以上の医療費の窓口負担の助成制度を、さらに今年 2 月から 70 歳以上に拡大している。また、檜原村でも窓口負担の 2 分の 1 を助成する制度を始めている。全国的には一人当たりの医療費が増えている中で、日の出町では減ってきている。その差は、2010 年度と 2012

9 月 3 日

年度の間で5万5887円にも上っている。日の出町の医療費の窓口負担の助成制度について、羽村市の考えを伺いたい。

(3)75歳以上の高齢者の窓口負担を軽減する医療費助成制度について

①高齢者キャラバン要請行動では、羽村市は「保険財政の現状」という理由で賛同しなかった。しかし、平成25年度について試算すると、一般会計総額に対する窓口負担助成総額の割合は1.67%となり、決断すれば実施できるのではないか。

②同じく高齢者キャラバン要請行動で「世代間の負担の公平性の確保」という理由でも賛同しなかった。しかし、どの家庭でも、別居を含め高齢者とはつながっており、これまで社会を支えてきた高齢者が安心して暮らせる状態をつくることに、市民から異論は出ないと思われるがいかがか。

(4)75歳以上の窓口負担を全額補助すると、平成26年度分で3億7008万1935円(一人当たり6万8674円)、半額補助では1億8504万968円(一人当たり3万4337円)と試算される。早期治療による効果が出れば窓口負担の補助に対する市の負担は、実質的には減少することとなる。75歳以上の窓口負担助成制度を実施すべきと思うがいかがか。できないとしたら、何が課題かを伺いたい。

## **2. 一人ひとりが能力を伸ばすことができるために、奨学金制度の充実を**

(1)格差解消が叫ばれているが、一向に改善されず格差は開くばかりである。また、雇用も正規の雇用はなかなか難しい。とりわけ、30歳を超えた人の再就職では、正規の雇用は困難であると言われている。雇用のあり方は人生の決定的な要因であり、少子化対策のカギでもある。このことについての考えを伺いたい。

(2)正規に雇用されるためには進学や資格などが必要である。この点についての考えを伺いたい。

(3)経済的に困難な人に対して、進学や資格を取るためには経済的支援が不可欠であるが、この点についての考えを伺いたい。

(4)「多額の奨学金の返済のために生活を切り詰めている。」という若者の話も聞く。現在の多くの奨学金制度は、利子分は全額補助されるものの、奨学金の総額は返済しなければならない。また、借りることができても、今の安い給料で返済ができるのか。返済によって日常生活が困難にならないか。この点についての考えを伺いたい。

14 人目

11 番

山 崎 陽 一  
(60 分)

- (5)若者の給与は、正規雇用の削減によって、特に低く抑えられている。現在の「羽村市入学資金融資制度」の返済をしやすくするために、返済の開始の時期を遅らせ、返済期間をもっと伸ばすべきだと思うがいかがか。
- (6)さらに、「羽村市入学資金融資制度」を「入学資金」に限らず、返済の免除、返済の一部免除、資金の増額などの内容を充実させた奨学金制度に改善すべきだと思うがいかがか。できない場合は、その理由を伺いたい。

#### 1. 区画整理撤回要求 第 34 弾

- (1)住民生活を無視した実施計画を聞く。
- ①優先整備という都道 3.4.12 号線工事、全体の整備完了時期と事業費を聞く。
  - ②仮に進めるとして、羽村東小校庭を削らぬ方法はなかったか。
  - ③遊具や照明塔、樹木の伐採など学校生活への影響が大きい。誰が作業責任を持つか。
  - ④駅前とはどの範囲か。その整備概要を聞く。
  - ⑤駅前整備完了時期と事業費を聞く。
  - ⑥駅周辺の駐輪場は借地だが、事業後はどう確保するのか。
  - ⑦しらうめ保育園近くのマンション借家人の調査をした。その後の対応、補償項目は。
- (2)区画整理事業の事業費、事業期間の全体像を明らかにせよ。
- ①優先整備 4 か所が示された。それ以外の地域整備の、移転実施計画はできているか。
  - ②優先整備が完了してから手掛けるのか、並行して進めるのか。
  - ③3240 万円かけた全体の移転実施計画。完了したなら公表すべきではないか。
  - ④予想される全体の事業費、および事業完了時期はいつか。
  - ⑤事業費の裏付けが必要だ。一般会計 200 億の市財政で可能か、根拠を聞く。
  - ⑥公共施設等総合管理計画では 30 年後の市内人口を 4 万 7000 人と推計。区画整理計画時の将来人口、6～7 万人から大幅減少だ。人口変化を事業に反映させないのはなぜか。
  - ⑦地方自治法第 2 条第 14 項、「地方公共団体は、その事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。」に反している。長期事業は最終責任者も曖昧。新国立競技場問題と同様で先が見えず、早急に事業を撤回すべきではないか。

9 月 3 日

15 人目

18 番

門 間 淑 子  
(60 分)

## 2. 次世代のリーダーを育てるために

- (1) 「若者フォーラム」で若者の市政参画は進んだか。
  - ① 若者フォーラム、目的は何か。
  - ② どんな会を、誰を対象にどのような方法で開いているか。
  - ③ 参加者総数と、市民参加者数は。
  - ④ いつまでにどのような達成目標か。
  - ⑤ 若者の市政参画なら、まず審議会、懇談会に若者公募枠を作ったらどうか。
  - ⑥ 元気なまちづくりは行政が指導するより、市民が自発的にするものと思うがどうか。
  - ⑦ 参加者たちが日常的に集まれる場がほしいとの要望が多い。考えはあるか。
  - ⑧ 福生駅舎に隣接の福生市民サポートセンターは無料で利用できる。研究したらどうか。

## 1. マイナンバー制度は安全か

- (1) 個人番号通知について
  - ① 個人番号通知の開始と完了時期はいつか。
  - ② DV 被害者へは、どのように通知されるのか。
  - ③ 市民への周知はどのようになされたか。
  - ④ 番号通知に伴う「質問・苦情対応窓口」は設置されるのか。
- (2) 個人番号カードについて
  - ① 個人番号カードの申請は、あくまで本人の選択と考えるが、個人番号カードを持たないと、行政手続きができない事務はあるか。
- (3) 独自利用範囲について
  - ① 法定の利用範囲以外に、羽村市として独自利用を考えているか。利用するとしたら、どのような分野・業務か。
- (4) 経費について
  - ① 制度導入による 27 年度経費で、国が支出する経費はどれほどか。
  - ② 羽村市が負担する経費はどれほどか。

## 2. 国勢調査について

- (1) 羽村市の実施本部設置はいつか。
- (2) 全額国費で対応できるのか。持ち出しはないか。
- (3) 市民の選択肢を保障するために、郵送回収は実施されるべきと考えるが、羽村市の対応はどうか。
- (4) 封入回収の任意性が保障されるよう、調査員への指導はなされるか。
- (5) ひとりの調査員は、最大いくつの調査区を担当するか。
- (6) 調査票未回収世帯へのフォローアップ調査は、どのように実施されるのか。

9 月 3 日

16 人目	3 番	印 南 修 太 (60 分)	<p>(7)在留外国人への対応は、どのように予定しているか。</p> <p><b>1. 羽村市の環境とみどりについて</b></p> <p>(1)多摩川(里川)からうける恩恵について</p> <p>①羽村堰の玉川兄弟像前の広場に選奨土木遺産の認定についてや、郷土博物館のイベント情報を掲示してはどうか。</p> <p>②農業者と共に、様々な施策で水田を残してきたのはなぜか。</p> <p>③青梅線以西地区の街づくりにとって、多摩川はどのような存在か。</p> <p>(2)富士見公園のみどりがより市民に親しまれるために</p> <p>①老木の枯れ枝の対策はどのようになっているか。</p> <p>②駐車場のカギの管理はどのように行っているか。</p> <p>③駐輪場を新たに整備できないか。</p> <p>(3)環境フェスティバルについて</p> <p>①開催までに実行委員会は何回行われるか。</p> <p>②単独開催ではなく、産業祭との融合や広域連携での開催は考えられないか。</p>	9 月 3 日
17 人目	15 番	濱 中 俊 男 (60 分)	<p><b>1. 羽村駅について</b></p> <p>(1)自由通路拡幅工事の進ちょく状況について</p> <p>①当初の行程表より遅延しているように思えるがどうか。</p> <p>②当駅の階段の勾配がきついとの声がある。新設する東側小作寄りの階段の勾配はどうか。</p> <p>③移動するキオスクの売り場面積は、現在と比べてどうか。</p> <p>④現在までの予算の執行状況は。また、予算増額の可能性は。</p> <p>⑤拡幅工事完了後、観光案内板等の設置についてはどう考えているか。</p> <p>(2)待合室について</p> <p>①市では待合室の設置を要望していると承知しているが、JRからの回答は。</p> <p>②待合室の必要性について、市はどのように認識しているか。</p> <p>(3)駅周辺の整備について</p> <p>①西口ロータリーの建設工事の完成見込みは。</p> <p>②東部踏切の拡幅工事は。</p>	9 月 3 日

③西口商店街の活性化については。

④西口駅前に複合ビルを検討していると聞いているが、この計画の進ちょく状況は。

(4) 電車について

①青梅ライナーの羽村駅・小作駅への停車をJRに働きかけているとのことだが、その見込みは。

②2020年度にグリーン車を導入するとの報道があるが、JRよりどのように聞いているか。また、プラットホームの延伸も必要になると思うがどうか。